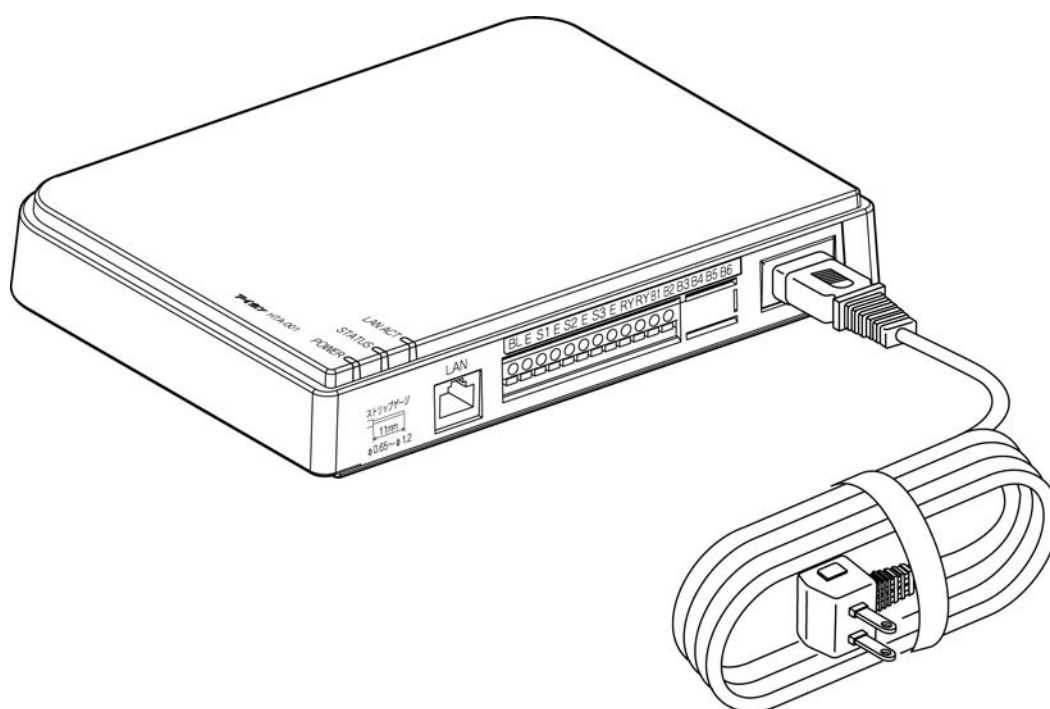
アイホン

取扱説明書

ネットターミナル

品番

HTA-001-A（ネットターミナル）

・本システムを使用するには、インターネット環境が必要です。
・本書をご覧いただく前に付属の「セットUPガイド」と「セットUP　CD-ROM」を使って、ネットターミナル接続ソフトのインストールやオンライン登録などをしてください。
・ポータルサイトの活用やテレビドアホンシステムが動作したときに携帯電話などへメール送信するには、別途「ITホームセキュリティサービス」契約（有料）が必要です。

安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
そのあと、必要に応じていつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

この商品の保証期間は２年間です。

安全上のご注意

注意（警告・注意を含む）を促す内容を告げるものです。

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、**人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容**を示しています。

機器を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

本体は絶対に開かないでください。機器内部には、電圧がかかっている部分があり、感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり重いものをのせないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。

指定の電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

機器に液体（水、ジュース、薬品など）が入ったり、ぬらさないようにしてください。火災、感電の原因となります。

開口部から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり落としたりしないでください。火災、感電の原因となります。

電源プラグは根元まで差し込んでください。差し込みが不十分だと、火災、感電の原因となります。

電源プラグの部分にほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、**人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容**を示しています。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

雷が鳴ったら、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電の原因となることがあります。

本機の上に物を置いたり、本体を布などで覆わないでください。火災、故障の原因となることがあります。

付属の AC コード以外は使用しないでください。火災、故障の原因となります。

次の場所での設置および使用は避けてください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 直射日光の当たる場所、暖房機器、ボイラーなどの近くで温度が上昇するところ
- 鉄粉、ほこり、油、薬品、硫化水素（温泉地）などのかかるおそれのあるところ
- 浴室、地下室、温室などの湿度の高いところ
- 冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低いところ
- 熱器具や調理台のそばなど直接湯気や油煙のあたるところ
- 調光器、インバータの電気製品などノイズの発生するところ

お願い

- ラジオ、テレビは当製品から 1m 以上離して使用してください。
- 本システムに使用する電気錠、AV 機器など当社ブランド以外の機器については、製造元、販売元の仕様および保証内容にしたがってください。
- 機器に故障や異常が生じた場合は電源プラグを抜いてください。
- 落としたりすると破損する恐れがあります。注意して使用してください。

お知らせ

- 屋内専用です。屋外では使用できません。
- 電源電圧などが日本国内仕様になっています。国外では使用できません。
- 停電時は使用できません。

使用上の注意

- ネットターミナルの起動（電源の投入）は、親機からの配線や LAN ケーブル等、すべてのケーブル類を正しく接続した最後に行ってください。特に、ネットターミナルの起動後に親機などの電源スイッチを ON にした場合は、インターホンマネージャが親機と接続できなくなることやパソコン側でエラー音が鳴ることがありますのでご注意ください。また、ネットターミナルから各ケーブルを取り外す場合は、最初にネットターミナルの電源プラグを抜いてください。
- ネットターミナルへの最大同時アクセス数は 5 となっていますが、アクセスしているユーザの操作によってはアクセス数が減少する場合があります。このとき、カメラ画像が表示されないことが稀にありますが、時間をずらして再度操作していただくと表示されるようになります。
- ネットターミナルへログイン後、20 分以上何も操作しないでいると、それ以降の操作は無効となります。続けて操作する場合は、再度ログインしてください。
- ネットターミナルへアクセスするためのユーザ名／パスワードはお客様の責任管理下にあります。これらは、第三者に推測されにくいものを設定してください。また、定期的にユーザ名／パスワードを変更していただくことをおすすめします。
- ルーターによっては動作しない場合があります。ルーターの推奨品については、弊社ホームページをご覧ください。
- ネットターミナルにアクセスできない場合やメールが正常に受信されないような問題が発生した場合は、一度、ネットターミナルの電源プラグを抜き差しし、本体の再起動を行ってください。それでも問題が解決されない場合は、モデムやルーターを再起動した後に、ネットターミナルの再起動を行ってください。（メール受信には別途「IT ホームセキュリティサービス」契約（有料）が必要です。）
- JF または WF 型をお使いで移報接点入力が「戸外出力」に設定されている場合、親機が呼出・通話中にネットターミナルの S2、S3 に接続したセンサーなどが反応すると、ネットターミナルに接続したセンサーが反応したメールと親機に接続したセンサーが反応したメールが送信されますが故障ではありません。
- テレビドアホンの詳しい仕様や操作方法については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。
- JD 型親機で二世帯システムの場合、ネットターミナルは自世帯、他世帯どちらかの世帯にしか接続できません。
- ネットワークやパソコンの負荷により音声、映像の途切れや遅延など動作が正常に動かない場合があります。

使用上の注意（通話）

- マイク、スピーカーから 50cm 以内の距離で通話してください。離れすぎると音声が聞き取りにくくなることがあります。
- パソコン（スピーカー）や玄関子機のまわりの音が大きく騒がしいとき（子供の泣き声、ステレオの音響、強風時の風雑音など）は、音声がとぎれて聞き取りにくくなることがあります。
- 玄関子機などと通話するときは、相手の話が終わらないうちに話すと、声がとぎれて聞こえることがあります。相手の話がいったん終わったところで話すと、スムーズな通話ができます。

無線 LAN 使用時の注意

無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようなセキュリティ問題が発生する場合があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID、パスワード、通信画像、メールなどの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、下記行為をする可能性があります。

・個人情報や機密情報を取り出す。
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す。
・傍受した通信内容を書き替えて発信する。
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する。

上記セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、お客様が無線 LAN 製品をご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を無線 LAN 製品の取扱説明書に従って行ってください。
本件のために生じた損害について当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

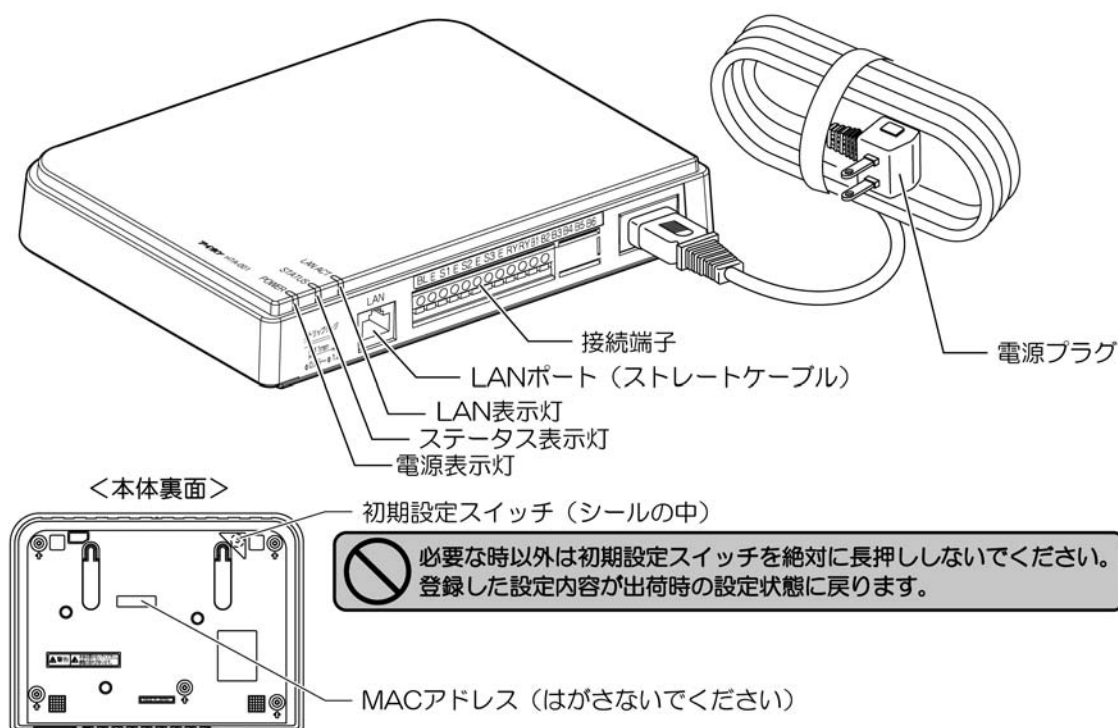
おことわり

- ネットワーク機器・携帯電話端末の障害、インターネットサービスや携帯電話会社の通信サービスの障害または回線不通などや通信手段の障害など、当社の責任によらない原因により本サービスの提供が遅延したり不能となった場合、あるいは送信手段に誤り・脱落などが発生した場合、その損害については当社は一切の責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 本製品の故障・不具合・誤操作などにより、通信できずに生じた損害については当社では一切の責任を負い兼ねますのであらかじめご了承ください。
- 当社の運営するサーバとお客様の設備の接続には、SSL による暗号化を行っておりますが、インターネットの通信経路において盗聴・不正アクセスなどがなされたことによりお客様の暗証番号・送信情報などが漏洩した場合、そのために生じた損害について当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- 本書は、アイホン株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が所有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 本書に掲載されています画像が実際のものと異なる場合がありますがご了承ください。
- 予告なく本書の一部を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 使用するパソコンのセキュリティ確保は、お客様自身で行ってください。セキュリティ障害についていかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

はじめに

ネットターミナルをご使用になる前に、必ず本章をお読みください。

各部の名称とはたらき

ここでは、各部の名称とそのはたらきについて説明します。
実際にネットターミナルを見ながら確認してください。

①電源表示灯（緑）	電源投入時に緑色で点灯します。
②ステータス表示灯（緑）	システム起動中に緑色で点滅し、起動完了で消灯します。
③ＬＡＮ表示灯（緑）	イーサネットで情報のやり取りがある場合に緑色で点滅します。
④電源プラグ	コンセントに差し込みます。
⑤接続端子	テレビドアホン、外部センサー、各種スイッチ等を接続します。
⑥ＬＡＮポート	ルーターなどネットワーク機器を接続します。

ネットターミナルの立ち上げ方

以下の手順でネットターミナルの準備をします。

1. **ネットターミナル以外の接続機器を電源 ON にします。**
2. **ネットターミナルの電源プラグをコンセントに差し込みます。**
3. **ネットターミナル前面にあるステータス表示灯の緑点滅が消えたら使用できます。**

パソコンの音量設定

<例>Windows XP の場合

※パソコンにより設定画面や名称が異なることがありますが、Windows2000 でも同様の設定をしてください。

1 タスクバーの［スタート］ボタンより［コントロールパネル］をクリックします。

コントロールパネルが開きます。

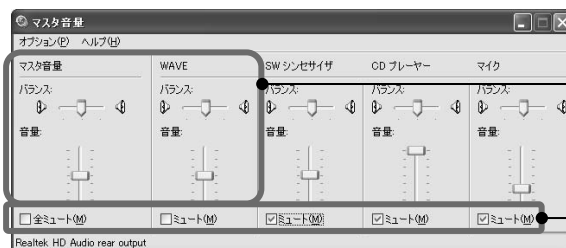
2 ［サウンド、音声、およびオーディオ デバイス］をダブルクリックします。

サウンドとオーディオ デバイスのプロパティが開きます。

3 ［オーディオ］タブをクリックします。

4 音の再生の［音量］ボタンを押します。

マスタ音量が開きます。

5 音量を調整します。

マスタ音量および WAVE の［バランス］つまみを左右の中央にセットし、［音量］つまみをそれぞれ上下の中央にセットします。

［全ミュート］および WAVE の［ミュート］のチェックを外し、その他の［ミュート］はチェックを入れます。

6 ［×］（閉じる）ボタンを押します。

マスタ音量が閉じます。

7 録音の［音量］ボタンを押します。

録音コントロールが開きます。

8 音量を調整します。

9 ［×］（閉じる）ボタンを押します。

録音コントロールが閉じます。

10 サウンドとオーディオ デバイスのプロパティの［OK］ボタンを押します。

サウンドとオーディオ デバイスのプロパティが閉じます。

インターホンマネージャのマイクやスピーカーの設定は、『インターホンマネージャの設定（P23)』を参照し、インターホンマネージャ側で行ってください。

＜例＞Windows Vista の場合

※パソコンにより設定画面や名称が異なることがあります。

1 タスクバーの［スタート］ボタンより［コントロールパネル］をクリックします。

コントロールパネルが開きます。

2 ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

3 ［サウンド］をクリックします。

サウンドが開きます。

4 ［再生］タブをクリックします。

5 ［スピーカー］をダブルクリックします。

スピーカーのプロパティが開きます。

6 ［レベル］タブをクリックします。

7 音量を調整します。

8 ［ＯＫ］ボタンを押します。

9 ［録音］タブをクリックします。

10 ［マイク］をダブルクリックします。

マイクのプロパティが開きます。

11 ［レベル］タブをクリックします。

12 音量を調整します。

13 ［ＯＫ］ボタンを押します。

インターホンマネージャのマイクやスピーカーの設定は、『インターホンマネージャの設定（P23)』を参照し、インターホンマネージャ側で行ってください。

使い方

本章では、ネットターミナルの利用者モードでの操作について説明します。

必要なパソコン環境

・ ネットターミナルのすべての機能をご利用いただくためのパソコンの動作環境は以下の通りです。

OS	Microsoft Windows XP/2000/Vista
必要メモリ容量	OS の推奨するメモリ容量以上
インターネットブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6 以上
DirectX	DirectX 8.0 以上
Windows Media Player	Windows Media Player 9 以上
その他の必須条件	サウンドボードが DirectX 対応であること

・ お使いのパソコンに Java ソフトウェアがインストールされていない場合は、ネットターミナルの一部機能をご利用いただけませんので、以下のサイトよりダウンロード後、インストールしてください。
【Java ソフトウェアの入手先】http://www.java.com/ja/

ログインする

ネットターミナルに利用者モードでログインするためには、以下の手順で操作を行います。

ネットターミナル接続ソフトアイコンをダブルクリックします。

ネットターミナルの〔ログイン画面〕が表示されます。

ログイン画面

2 ［ユーザ名］（初期値：user）を入力します。

3 ［パスワード］（初期値：user）を入力します。

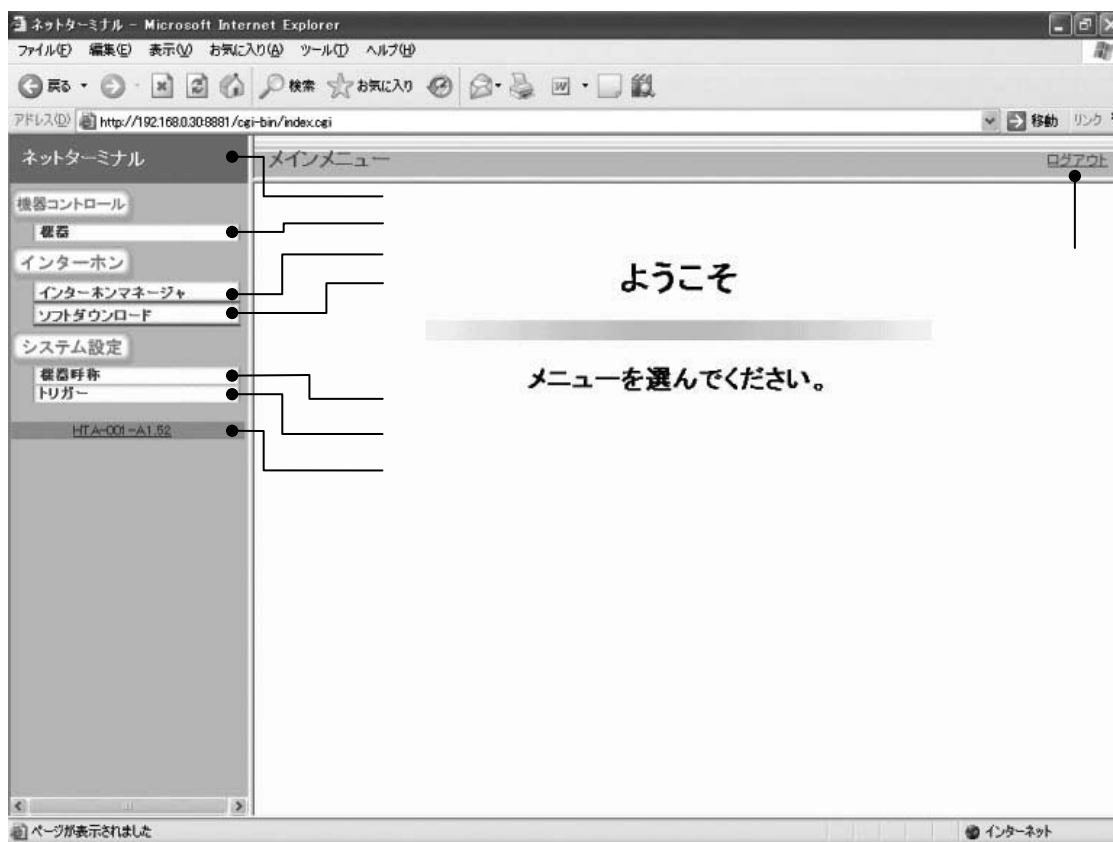
4 ［ログイン］ボタンを押すと、〔メインメニュー〕が表示されます。

※［取消］ボタンを押すと、各入力欄がクリアされます。

・ネットターミナル接続ソフトアイコンは、付属の「セットアップガイド」に従ってネットターミナル接続ソフトをインストールするとデスクトップにできます。
・「スタート」－「すべてのプログラム」－「アイホン」から「ネットターミナル接続ソフト」をクリックしてもログイン画面を表示できます。

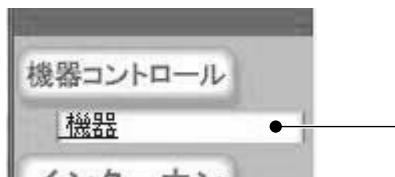
メインメニュー

メインメニューには、〔機器コントロールメニュー〕、〔インターホンメニュー〕、〔システム設定メニュー〕があります。

メインメニュー画面

①タイトル	ネットターミナルの名称が表示されています。 ※名称は〔機器呼称設定画面〕で設定された値が反映されます。 →『機器呼称を設定する（P26）』
②機器項目	出力チャネルに対応した機器を操作できます。 →『外部機器を操作する（機器コントロールメニュー）（P13）』
③インターホンマネージャ	インターホンマネージャが起動され、テレビドアホンの各種操作が行えます。 →『インターホンマネージャを起動する（P19）』
④ソフトダウンロード	インターホンマネージャのインストーラーをダウンロードします。 →『インターホンマネージャをインストールする（P17）』
⑤機器呼称	タイトルや機器コントロールメニューの名称を変更します。 →『機器呼称を設定する（P26）』
⑥トリガー	音声取得録画（デラックスメール）の取得有無や外出遅延設定、各機器反応時のメール送信有無を設定します。 →『トリガーを設定する（P27）』
⑦バージョン情報	バージョン情報が表示されています。
⑧ログアウト	クリックすると、ログアウトします。

外部機器を操作する（機器コントロールメニュー）

ネットターミナルの出力チャネルに対応した機器を操作します。

機器コントロールメニュー

【メニュー項目の説明】

①機器項目　〔機器コントロールサブウィンドウ〕が表示され、出力チャネルに対応した機器を操作できます。
※機器名には〔機器呼称設定画面〕で設定された値が反映されます。
→『機器呼称を設定する（P26)』

外部機器を操作する

機器コントロールメニューの機器項目をクリックすると、〔機器コントロールサブウィンドウ〕が表示されます。

機器コントロールサブウィンドウ

［ON］ボタンおよび［OFF］ボタンを押すと、接続端子 RY に接続されている機器が ON、OFF します。
また、ボタンが押された旨のメッセージが表示されます。
［閉じる］ボタンを押すと、同サブウィンドウを終了します。

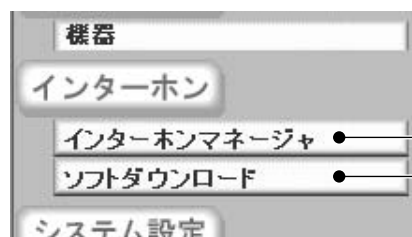
ON：メーク出力
OFF：ブレーク出力

※機器名や［ON］/［OFF］ボタンの呼称は〔機器呼称設定画面〕で設定された呼称が反映されます。

インターホンを使う（インターホンメニュー）

パソコンでテレビドアホンを操作するためのアプリケーションであるインターホンマネージャを起動するためのメニュー項目があります。

**インターホンマネージャを使用するためには、ソフトをインストールする必要があります。
最初に「ソフトダウンロード」を行ってください。**

インターホンメニュー

【メニュー項目の説明】

①インターホンマネージャ　インターホンマネージャが起動され、テレビドアホンの各種操作が行えます。
→『インターホンマネージャを起動する（P19）』

②ソフトダウンロード　インターホンマネージャのインストーラーをダウンロードします。
→『インターホンマネージャをインストールする（P17）』

インターホンマネージャでできること

インターホンマネージャでは、下表に示すテレビドアホンの操作が行えます。
各機能の詳細については、テレビドアホンの取扱説明書をご覧ください。

インターホンマネージャ機能一覧

操作	対象	JD-3ME	JD-3M	JF または WF
警戒セット	自世帯親機	○	○	×
警戒解除	自世帯親機	○	○	×
モニター・通話	自世帯玄関子機	○（最大 3 台）	○（最大 3 台）	○（最大 2 台）
	自世帯センサーカメラ	○（最大 4 台）	○（最大 1 台）	×
	他世帯玄関子機	○（最大 3 台）	○（最大 3 台）	×
	他世帯センサーカメラ	○（最大 4 台）	○（最大 1 台）	×
室内呼出・通話	自世帯親機・増設親機	○	○	○ ※
他世帯呼出・通話	他世帯親機・増設親機	○	○	×
転送	自世帯親機・増設親機	○	○	○
	他世帯親機・増設親機	○	○	×
録画・再生	自世帯玄関子機	×	×	○
応答メッセージ	自世帯玄関子機	×	×	○
施錠	自世帯玄関	○	○	○
	他世帯玄関	×	×	×
警報表示	自世帯非常警報	○	×	×
	自世帯センサー	○（1 系統）	○（2 系統）	○（1 系統）
	他世帯非常警報	○	×	×
	他世帯センサー	○（1 系統）	○（2 系統）	×
	自世帯電気錠警報	○	○	○
	他世帯電気錠警報	○	○	×
	非常ボタンなど（ネットターミナル経由）	○	○	○

・ 親機や増設親機では可能な操作でも、インターホンマネージャではできない機能もあります。
・ 他世帯からの呼出や警報は、転送セットすることでインターホンマネージャで受けられます。
※WF 型（WF-2MED-T）をお使いの場合、ワイヤレス増設親機への室内呼出・通話はできません。

インターホンマネージャの制限

同時操作できる人数

インターホンマネージャは、1 台のネットターミナルにつきパソコンを最大 5 台まで同時に接続できます。ただし、玄関子機や親機との通話や操作を行えるのは 1 台のパソコンのみです。

誰かが操作している場合、それ以外の接続パソコンは以下の画面となり操作できなくなります。

他者が操作中の画面

※操作している人が操作を終えれば、自動的に待機画面に戻ります。

インターホンマネージャ同士の通話（パソコン同士の通話）はできません。

インターホンマネージャをインストールする

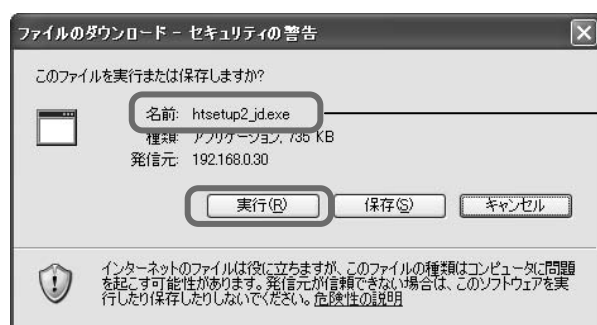
インターホンマネージャを使用するには、お使いのパソコンに専用のアプリケーションであるインターホンマネージャをインストールする必要があります。（Windows パソコン専用）

＜例＞JD-3M、JD-3ME をインストールする場合

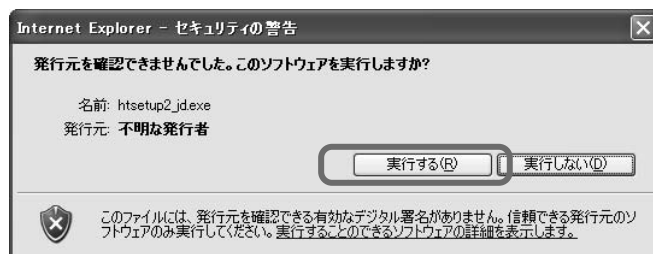
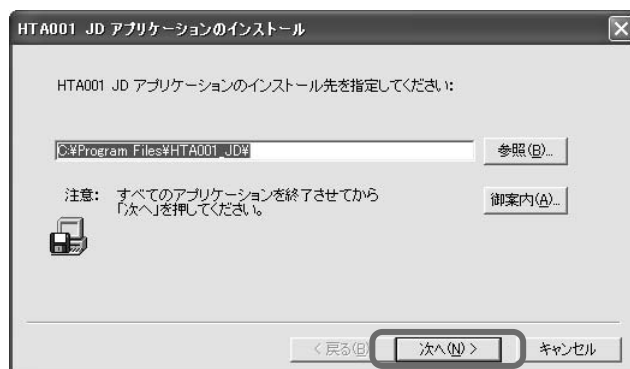
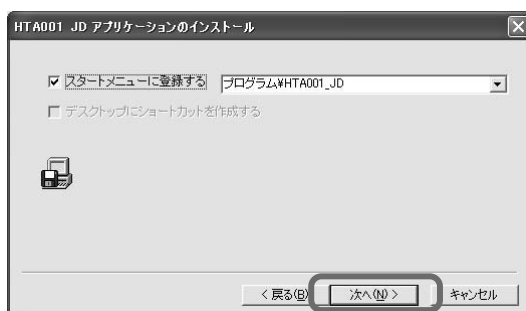
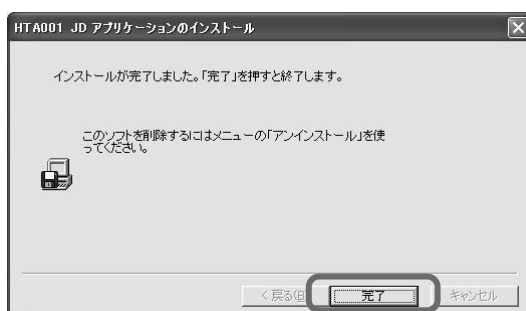
※JF または WF の場合も同様に操作してください。

1 インターホンメニューの［ソフトダウンロード］をクリックします。

インストール中にセキュリティの警告やウィルスチェックプログラムの警告画面が表示される場合は許可してください。

2 ［実行(R)］ボタンを押します。

htsetup2_jd.exe： JD-3M
JD-3ME
htsetup2_jf.exe： JF または
WF

親機のモデルと異なる場合、管理者モードでログインし（P29）、インターホンタイプを設定し直してください。（P38）

3 ［実行する(R)］ボタンを押します。

4 ［次へ(N)>］ボタンを押します。

5 [次へ(N)>] ボタンを押します。

6 [完了] ボタンを押します。

7 [OK] ボタンを押します。

これでインターホンマネージャのインストールは完了です。

<補足>

操作 1 でファイルのダウンロード時に [保存(S)] ボタンを押した場合は、パソコンに保存された「htsetup2_jd.exe」または「htsetup2_jf.exe」アイコンをダブルクリックし起動してください。

「htsetup2_jd.exe」アイコン　「htsetup2_jf.exe」アイコン

インターホンマネージャをアンインストールする

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から「HTA001 JD アプリケーション」または「HTA001 JF アプリケーション」を削除してください。

インターホンマネージャを起動する

インターホンマネージャを起動するには「ソフトダウンロード」が必要です。

→『インターホンマネージャをインストールする（P17）』

※起動中にセキュリティの警告やウィルスチェックプログラムの警告画面が表示される場合は、
許可してください。

1 インターホンメニューの［インターホンマネージャ］をクリックします。

2 ［開く(O)］ボタンを押します。

3 インターホンマネージャが起動します。

JD 型

JF または WF 型

※親機の設定などにより、表示されないボタンもあります。

＜補足＞

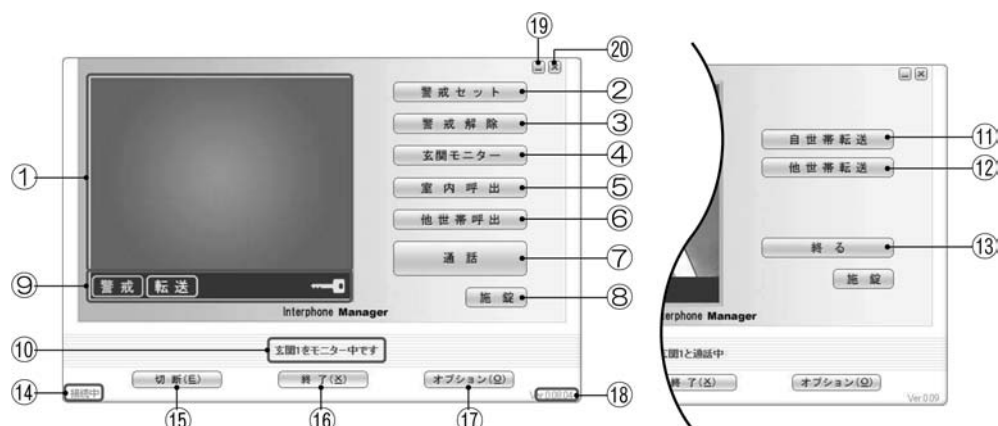
ファイルのダウンロードで［保存(S)］ボタンを押した場合は、パソコンに保存された「hta001.htjd」または「hta001.htjf」アイコンをダブルクリックしてください。

「hta001.htjd」アイコン　「hta001.htjf」アイコン

画面の見方（JD 型の場合）

インターホンマネージャの画面構成を説明します。

（画面は説明のためのものであり、親機の設定により実際とは異なる場合があります）

インターホンマネージャ（JD-3M・JD-3ME）

【画面の説明】

番号	画面部品	説明
①	映像表示部	玄関子機やセンサーカメラの映像、または警報画面を表示します。
②	警戒セットボタン	警戒セットします。（待受中で親機などが操作中でないとき）
③	警戒解除ボタン	警戒セットが解除されます。（待受中で親機などが操作中でないとき）
④	玄関モニターボタン	玄関子機やセンサーカメラをモニターします。
⑤	室内呼出ボタン	親機および増設親機への呼出をします。
⑥	他世帯呼出ボタン	他世帯の親機（および増設親機）への呼出をします。
⑦	通話ボタン	ヘッドセットなどを使用することで、呼出中やモニター中に玄関子機や親機および増設親機と通話をします。
⑧	施錠ボタン	電気錠を施錠します。（電気錠解錠時）
⑨	インジケーター表示部	警戒セットや転送設定の状態を表示します。 警戒：警戒セット時表示します。　転送：転送セット時表示します。 ：電気錠解錠時表示します。
⑩	ステータス表示部	現在のインターホンマネージャの状況を表示します。
⑪	自世帯転送ボタン	自世帯の親機および増設親機へ転送します。
⑫	他世帯転送ボタン	他世帯の親機および増設親機へ転送します。
⑬	終るボタン	通話を終了します。
⑭	接続状態表示部	親機と接続中／未接続を表示します。
⑮	切断ボタン	親機との接続を切断します。
⑯	終了ボタン	インターホンマネージャを終了します。
⑰	オプションボタン	インターホンマネージャのオプション設定を行います。
⑱	バージョン表示部	インターホンマネージャのバージョン番号を表示します。
⑲	最小化ボタン	インターホンマネージャを Windows のタスクバーに収納します。
⑳	クローズボタン	インターホンマネージャを終了します。

《警戒セットについて》

・ 警戒セットボタンで警戒セットされるのは親機のみで、ポータルサイトの［外出在宅切替］や本機接続の在不在スイッチとは連動しません。（逆に［外出在宅切替］で外出モードにしたり、在不在スイッチを「入」にすると親機で警戒セットします。）
・ 親機で操作中の場合、警戒セットされない場合があります。インジケーター表示部に警戒セットマークが表示されていない場合は、しばらくしてから再度警戒セットをしてください。
・ 警戒セット時、うろつきセンサが反応するとインターホンマネージャ、テレビドアホンへ通報します。

《転送セットについて》

・ 転送セットしている自世帯側で玄関モニターなどの操作やうろつきセンサが反応すると転送セットが解除されます。（「常時転送設定あり」の場合は転送セットが解除されないので、外出時などは「常時転送設定あり」で使用することをおすすめします。詳しくは JD 型親機の取扱説明書「転送セット（留守セット）を設定する」をご確認ください。）

《通話音量・呼出音量について》

・ 通話音量・呼出音量は、インターホンマネージャの設定、パソコンの設定、ヘッドセットなどのボリュームによって変化します。モニターや通話をする際は音量に十分注意してください。

画面の見方（JF または WF 型の場合）

インターホンマネージャの画面構成を説明します。

（画面は説明のためのものであり、親機の設定により実際とは異なる場合があります）

インターホンマネージャ（JF または WF）

通常モード画面　　再生モード画面

【画面の説明】

番号	画面部品			説明
①	映像表示部			玄関子機の映像や再生モード画像を表示します。
②	解錠マーク表示部			電気錠が解錠されている場合に鍵アイコンを表示します。
③	操作ボタン	通常モード	室内ボタン	親機および増設親機への呼出／転送を行います。
			再生ボタン	再生モードに移行します。再生されていない録画画像がある場合、点滅します。
			玄関モニターボタン	玄関子機の映像をモニターします。
			録画ボタン	玄関子機の映像を録画します。（1 枚／秒で最大 8 枚）録画中に点滅します。
			応答 1 ボタン	応答メッセージ 1 を送出します。
			応答 2 ボタン	応答メッセージ 2 を送出します。
		再生モード	⏮	前の（日付の新しい）画像を表示します。
			▶	録画画像を再生します。（最大 8 枚／1 件）
			⏭	次の（日付の古い）画像を表示します。
④	施錠ボタン			電気錠を施錠します。（電気錠解錠時）
⑤	ステータス表示部			現在のインターホンマネージャの状況を表示します。
⑥	通話ボタン			ヘッドセットなどを使用することで、呼出中やモニター中に玄関子機や親機および増設親機と通話をします。再度通話ボタンを押すと終了します。
⑦	接続状態表示部			親機と接続中／未接続を表示します。
⑧	切断ボタン			親機との接続を切断します。
⑨	終了ボタン			インターホンマネージャを終了します。
⑩	オプションボタン			インターホンマネージャのオプション設定を行います。
⑪	バージョン表示部			インターホンマネージャのバージョン番号を表示します。
⑫	最小化ボタン			インターホンマネージャを Windows のタスクバーに収納します。
⑬	クローズボタン			インターホンマネージャを終了します。

《再生モードの画面について》

・ 再生モードでは、過去に録画した画像（最大 50 件）を再生します。

・ 再生モードでは、再生と頭出しのみ操作可能です。

※1 再生モードでは画面上にアイコンが表示されますが、アイコンとボタンの関連性はありません。

《通話音量・呼出音量について》

・ 通話音量・呼出音量は、インターホンマネージャの設定、パソコンの設定、ヘッドセットなどのボリュームによって変化します。モニターや通話をする際は音量に十分注意してください。

> WF 型（WF-2MED-T）をお使いの場合に通話を終了させるには、通話ボタンを再度押してください。
> 親機やワイヤレス増設親機と操作が異なります。

その他の画面表示

警報表示

非常警報やセンサー警報などがあった場合に、警報画面と警報音でお知らせします。

※　画面表示やステータス表示は警報によって異なります。

センサー警報発報画面

JD 型

JF または WF 型

ボタン		動作
JD 型	確認	警報の鳴動を止めます。
JF または WF 型	通話	

インターホンマネージャの設定

インターホンマネージャ用のマイクやスピーカーの音量調整をします。
事前にパソコン音量の設定をしてください。→『パソコンの音量設定（P7）』

インターホンマネージャを立ち上げ、玄関子機と通話状態にします。

2 **通話中に［オプション(O)］ボタンを押します。**

オプション設定画面が表示されます。

3 **玄関先と会話を行い、適切なレベルに調整します。**

> 注意：スピーカーに耳を直接あてて、音量調節をしないでください。
> スピーカーボリュームが大きすぎると鼓膜を破く恐れがあります。

オプション設定画面

［決定］ボタンを押します。

項目	画面部品	説明
デジタルボリューム	マイクボリューム倍率	親機や玄関子機への出力の大きさを変更できます。
	スピーカーボリューム倍率	親機や玄関子機からの入力の大きさを変更できます。
一般オプション	最小化時に隠す	最小化時にタスクバーに表示されなくなります。再表示させたい場合はタスクトレー上のアイコンをクリックします。
	呼び出されたらポップアップする	呼出時や警報発報時に、最小化されていても自動的にポップアップするようにします。
	アプリケーション終了時、確認しない	インターホンマネージャの［終了］ボタンを押すと、確認画面を表示せず、すぐに終了します。
接続設定	ホストアドレス	現在のネットターミナルのIP アドレスとインターホンマネージャ用のポート番号が表示されます。
	画像取得ポート	現在の画像取得用ポート番号が表示されます。

・音量は、パソコンの設定やヘッドセットなどのボリュームにも依存します。

《音量調整のポイント》

・通話時、スピーカーボリューム倍率を上げても玄関子機の音が聞こえなかったら、マイクボリューム倍率を少しずつ下げてください。（自動交互通話方式のためマイクボリューム倍率が大きいと受話に切り替わらない場合があります）

・パソコンの「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」でボリュームを変更すると通話音量も変更されますのでご注意ください。

・パソコン環境によって音質が悪いものや通話機能が使えないものがあります。

・うまくいかない時は、パソコンのボリュームを再度調整してください。（P 7）

親機が電源 OFF または初期化中

親機の電源が OFF の場合や親機が初期化中の場合は以下に示す画面が表示され、インターホンマネージャは操作できなくなります。その場合は、初期化が終わるまでしばらくお待ちください。

親機が電源 OFF または初期化中画面

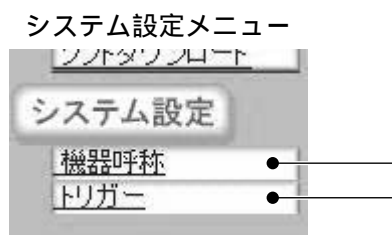
JD 型

JF または WF 型

エラーが表示された場合

表示	内容
インターホンマネージャ JF 接続先が見つかりません OK	接続開始時にネットターミナルが見つからなかった場合にこのメッセージが表示されます。 ネットワークの切断などが考えられますので、再度接続し直してください。
インターホンマネージャ JF 同時接続制限を超えています 時間をおいて再接続してください OK	接続人数制限をオーバーしていますので、時間をおいて再度接続してください。 同時に接続できるのは 5 人までです。
インターホンマネージャ JF サーバ側より切断されました 時間をおいて再接続してください OK	接続が不安定などの理由により自動的に切断された場合に表示されます。（ネットターミナルの内部状態が不安定、または回線状態が不安定） 再接続しても解消されない場合は、ルーター・モデムの再起動やネットターミナル自体の電源再投入を行ってください。

機能を設定する（システム設定メニュー）

以下の利用者向けシステム設定メニューがあります。

システム設定メニュー

【メニュー項目の説明】

①機器呼称	タイトルや機器コントロールメニューの名称を変更します。 →『機器呼称を設定する（P26）』
②トリガー	音声取得画面（デラックスメール）の取得有無や外出遅延設定、各機器反応時のメール送信有無を設定します。 →『トリガーを設定する（P27）』

機器呼称を設定する

システム設定メニューの［機器呼称］をクリックすると、画面右側に〔機器呼称設定画面〕が表示されます。

機器呼称設定画面

※画面には初期設定値が表示されています。

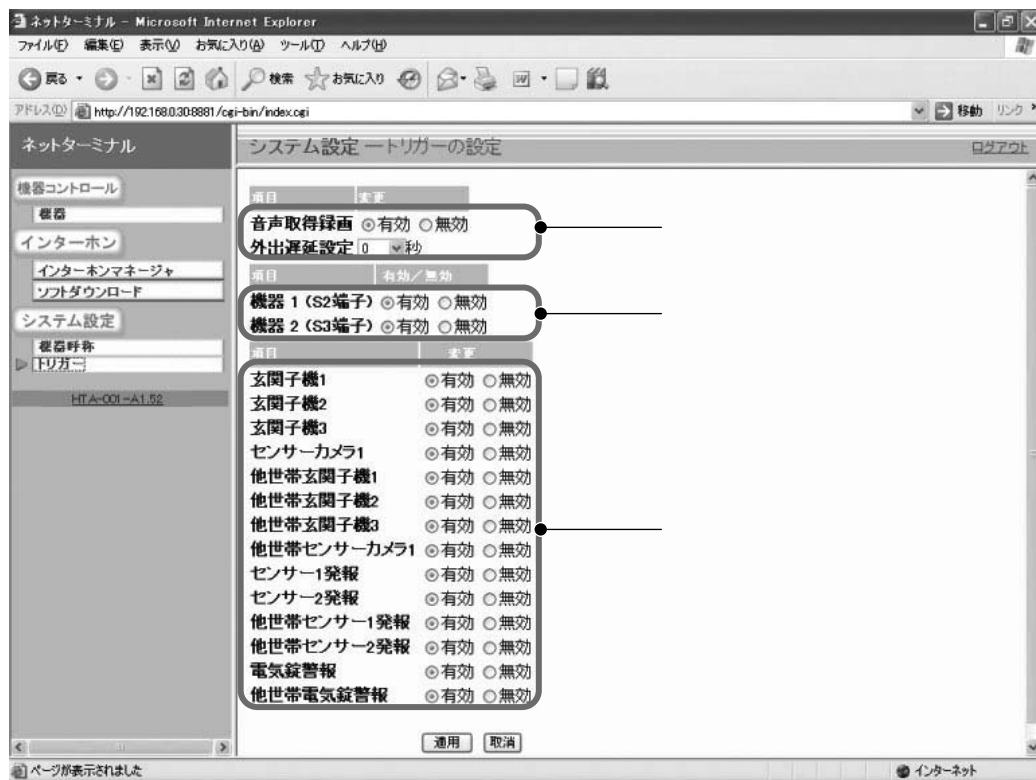
タイトルなどの呼称を変更し、［適用］ボタンを押すことで設定されます。
また、［取消］ボタンを押すと、各設定項目の値が現在の設定値に戻ります。

各入力欄の文字数の制限、変更箇所は下記の通りです。

名称	最大文字数（単位：文字）		変更箇所
	全角	半角	
タイトル	12	24	メインメニューのタイトル
機器	8	16	機器コントロールメニュー 機器コントロールサブウィンドウ内
ON	4	8	機器コントロールサブウィンドウ内
OFF	4	8	

トリガーを設定する

システム設定メニューの［トリガー］をクリックすると、画面右側に〔トリガー設定画面〕が表示されます。

トリガー設定画面

（例として JD-3M の画面を表示しています）
※画面には初期設定値が表示されています。

設定後、［適用］ボタンを押すことで設定されます。

また、［取消］ボタンを押すと、各設定項目の値が現在の設定値に戻ります。

① ［音声取得録画］を有効にすると、デラックスメール（11 枚の連続画像+11 秒間の音声）を取得します。無効にすると静止画のみになります。
また、外出モードへの切り替え時の遅延設定を行う［外出遅延設定］（選択肢：0、30、60、90、120）があります。

② ［機器 1］［機器 2］を有効にすると［機器 1］［機器 2］からの汎用入力が有効になり、メールを送信します。無効にすると、汎用入力が無効になり、メール送信もしません。
機器 1：接続端子 S2 に接続されている機器
機器 2：接続端子 S3 に接続されている機器
管理者モードの［入出力チャネル］の設定により、表示されない場合があります。（P36）

③ 『インターホントリガー設定項目（P28）』に示す各機器が反応した場合にメールを送信する／しないを設定（※）するラジオボタンがあります。有効にするとメールを送信し、無効にすると送信されなくなります。
※メール送信をするには別途「IT ホームセキュリティサービス」契約（有料）が必要です。

インターホントリガー設定項目

設定項目	JD-3ME	JD-3M	JF または WF
玄関子機 1	○	○	○
玄関子機 2	○	○	○
玄関子機 3	○	○	×
センサーカメラ 1	○	○	×
センサーカメラ 2	○	×	×
センサーカメラ 3	○	×	×
センサーカメラ 4	○	×	×
他世帯玄関子機 1	○	○	×
他世帯玄関子機 2	○	○	×
他世帯玄関子機 3	○	○	×
他世帯センサーカメラ 1	○	○	×
他世帯センサーカメラ 2	○	×	×
他世帯センサーカメラ 3	○	×	×
他世帯センサーカメラ 4	○	×	×
非常警報	○	×	×
他世帯非常警報	○	×	×
センサー発報	○	×	○
センサー発報 1	×	○	×
センサー発報 2	×	○	×
他世帯センサー発報	○	×	×
他世帯センサー発報 1	×	○	×
他世帯センサー発報 2	×	○	×
電気錠警報	○	○	○
他世帯電気錠警報	○	○	×

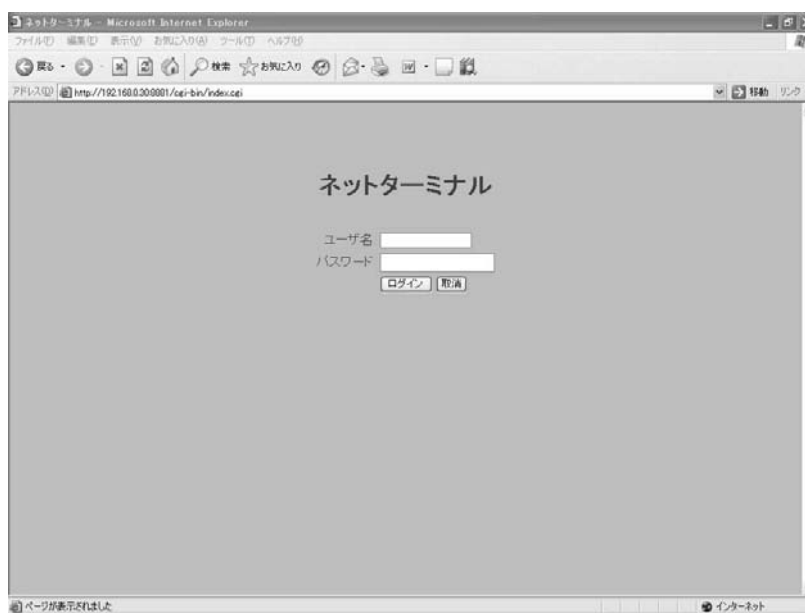
管理者モード

本章では、ネットターミナルの管理者モードでの操作について説明します。

ログインする

ネットターミナルに管理者モードでログインするためには、以下の手順で操作を行います。

ネットターミナル接続ソフトアイコンをダブルクリックします。

ネットターミナルの〔ログイン画面〕が表示されます。

2 ［ユーザ名］（初期値：admin）を入力します。

3 ［パスワード］（初期値：aiphone）を入力します。

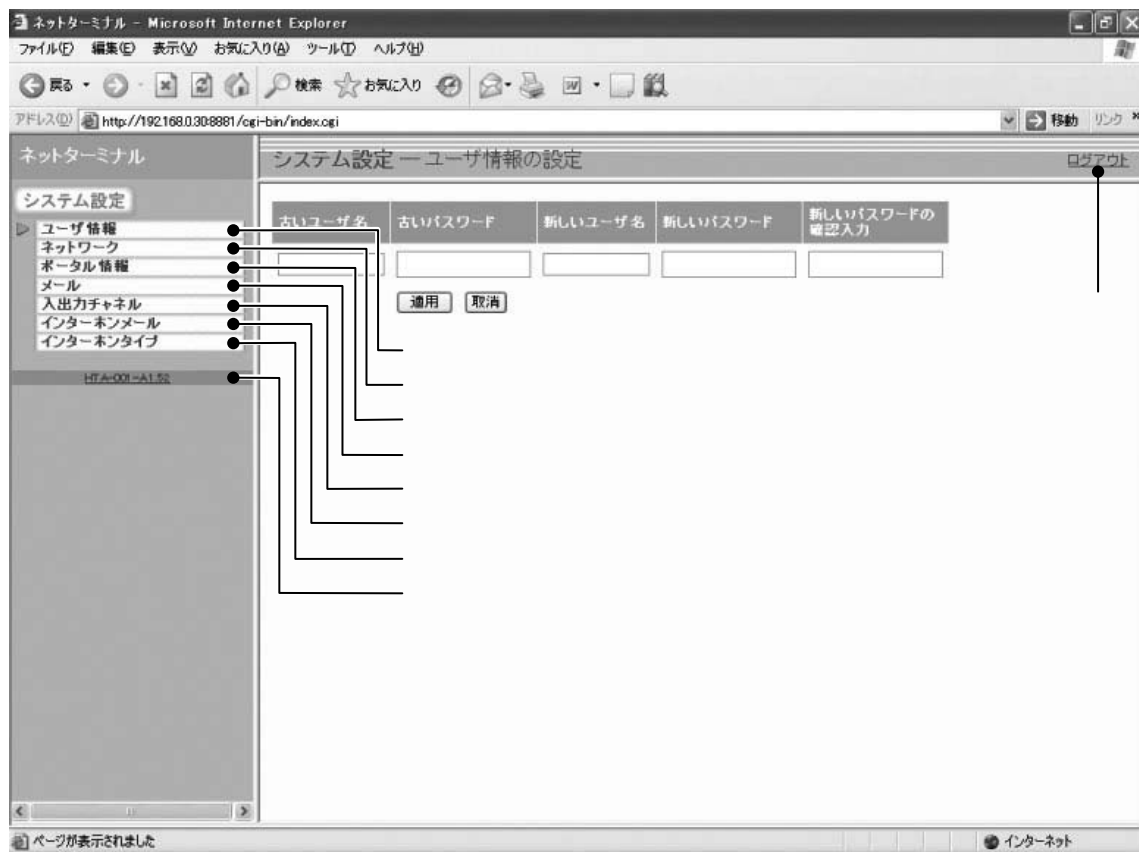
4 ［ログイン］ボタンを押すと、〔システム設定メニュー〕が表示されます。

※［取消］ボタンを押すと、各入力欄がクリアされます。

- ネットターミナル接続ソフトアイコンは、付属の「セットアップガイド」に従ってネットターミナル接続ソフトをインストールするとデスクトップにできます。
- 「スタート」－「すべてのプログラム」－「アイホン」から「ネットターミナル接続ソフト」をクリックしてもログイン画面を表示できます。

機能を設定する（システム設定メニュー）

以下の管理者向けシステム設定メニューがあります。
※「ネットワーク」と「インターホンタイプ」の設定を最初に行ってください。

システム設定メニュー

【メニュー項目の説明】

①ユーザ情報	管理者および利用者のユーザ名とパスワードを設定します。 →『ユーザ情報を設定する（P31）』
②ネットワーク	ネットターミナルをネットワークに接続するための設定を行います。 →『ネットワーク情報を設定する（P32）』
③ポータル情報	ポータルドメイン名とソケット通信の間隔を設定します。 →『ポータル情報を設定する（P34）』
④メール	メール情報やメール送信方法を設定します。 →『メール情報を設定する（P35）』
⑤入出力チャネル	入出力に関する設定を行います。 →『入出力チャネルを設定する（P36）』
⑥インターホンメール	インターホンが動作したときメールするメール本文を設定します。 →『インターホンメール本文を設定する（P37）』
⑦インターホンタイプ	ネットターミナルに接続するテレビドアホン親機を設定します。 →『インターホンタイプを設定する（P38）』
⑧バージョン情報	バージョン情報が表示されています。またバージョン情報をクリックすると〔ソフトウェアバージョンアップ画面〕が表示されます。 →『ソフトウェアをバージョンアップする（P39）』
⑨ログアウト	クリックすると、ログアウトします。

ユーザ情報を設定する

システム設定メニューの［ユーザ情報］をクリックすると、画面右側に〔ユーザ情報設定画面〕が表示されます。

ユーザ情報設定画面

本画面には、管理者および利用者のユーザ名（アカウント名）入力欄とパスワード入力欄（誤入力を防ぐため 2 つ用意）があり、設定後、［適用］ボタンを押すことで設定されます。
また、［取消］ボタンを押すと、各設定項目の値がクリアされます。

各入力欄の文字数の制限は以下の通りです。

・ユーザ名　　（最大文字数　半角英数 8）
・パスワード　（最大文字数　半角英数 8）

ネットワーク情報を設定する

システム設定メニューの［ネットワーク］をクリックすると、画面右側に〔ネットワーク設定画面〕が表示されます。　※通常は設定内容を変更しないでください。

ネットワーク設定画面

※画面には初期設定値が表示されています。

本画面には、［DHCP による自動 IP 取得］、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］、［優先 DNS サーバ］、［代替 DNS サーバ］の各 IP アドレス設定欄と、［ポート設定］、［Web ポート番号］、［インターホンコントロールポート番号（制御）］、［インターホンコントロールポート番号（音声）］の各ポート番号入力欄（次頁参照）、そして［ntp サーバ］入力欄と［ntp 時刻合わせ間隔］選択欄（選択肢：1、3、6、12、24）、さらに［MAC アドレス］表示部があります。

※［DHCP による自動 IP 取得］を無効にすると、IP アドレスなどを各 IP アドレス設定欄に入力できるようになります。

※［ポート設定］を手動にすると、Web ポート番号などを各ポート番号入力欄に入力できるようになります。

※［今すぐ ntp で時刻合わせ］ボタンを押すと、［ntp サーバ］入力欄で指定した ntp サーバを参照し即座にネットターミナルのシステム日時を合わせます。

設定後、［適用］ボタンを押すことで内部的に設定はされますが、［再起動］ボタンを押してシステムの再起動が完了するまではネットターミナルに反映されません。
また、［取消］ボタンを押すと、各設定項目の値が現在の設定値に戻ります。

≪ＩＰアドレスについて≫

DHCP による自動IP 取得を無効にし､固定IP を設定する場合は､ネット環境に合わせてIP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、優先 DNS サーバを設定してください。

※ DNS サーバが一つしかない場合は、優先 DNS サーバ欄に入力してください。

≪Web ポート番号について≫

ポート設定を手動にする場合は、Web ポート番号、インターホンコントロールポート番号（制御）、インターホンコントロールポート番号（音声）を設定してください。

Web ポート番号の推奨値と範囲を下表に表示します。

ポート推奨値

ポート	推奨値	範囲	プロトコル
Web ポート番号	8881	80～19541	TCP
インターホンコントロールポート番号（制御）	19542	19542～19770	TCP
インターホンコントロールポート番号（音声）	19771	19771～19999	UDP

≪Web ポート指定での注意事項≫

Web ポート番号を指定する際には、以下の点にご注意ください。

■ ソフトバンクの携帯電話を使用している場合は、Web ポート番号を 80 に設定してください。（インターネットプロバイダーなどによっては Web ポート番号「80」が閉じられている場合があります。その場合はご利用できません。）

■ Web ポート番号で、同一番号は指定できません。

■ メールで使用する 25 番、110 番、143 番、587 番は使用しないでください。お使いのパソコンで使用する通常のメール送受信に影響を及ぼす影響があります。

■ それ以外にお使いのパソコン上のソフトで使用する Web ポート番号とは重ならないように設定してください。

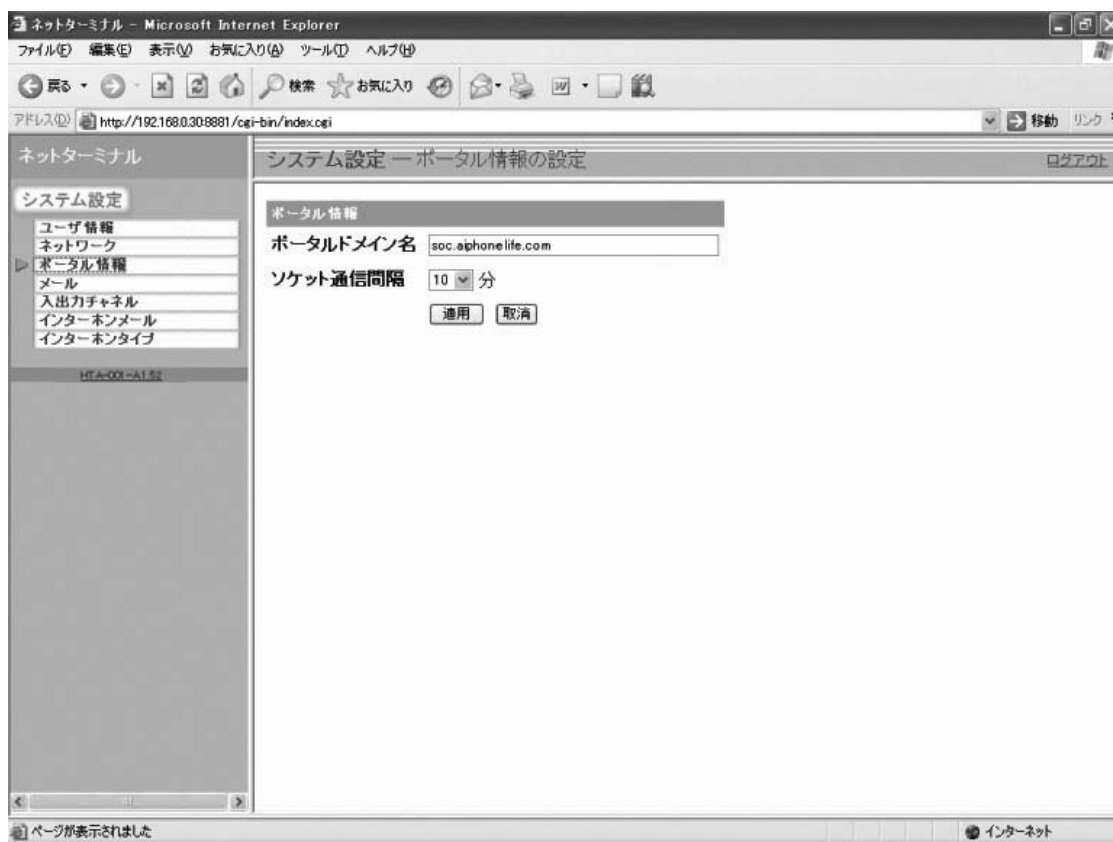
■ お使いのパソコンにウィルス対策ソフトがインストールされている場合、含まれるファイアーウォール機能により設定したポート番号が閉じられている場合があります。その場合はファイアーウォール機能を OFF にするか、指定したポートを開けるように設定を行ってください。（設定は各ウィルス対策ソフトの取扱説明書をご覧ください。）

≪ログダウンロードについて≫

［ログダウンロード］ボタンは、ネットターミナルにアクセスできなかった場合や、メールが受信できなかった場合に、それらの記憶を確認するためのものです。（通常は使用しません。）

ポータル情報を設定する

システム設定メニューの［ポータル情報］をクリックすると、画面右側に〔ポータル情報設定画面〕が表示されます。　※通常は設定内容を変更しないでください。

ポータル情報設定画面

※画面には初期設定値が表示されています。

本画面には、［ポータルドメイン名］の入力欄と、［ソケット通信間隔］選択欄があり、設定後、［適用］ボタンを押すことで設定されます。
また、［取消］ボタンを押すと、各設定項目の値が現在の設定値に戻ります。

［ポータルドメイン名］：ドメイン名／IP アドレスのどちらかを入力します。
［ソケット通信間隔］選択肢：0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10 があります。

「IT ホームセキュリティサービス」契約（有料）をした場合、0 分に設定しないでください。通信異常メールが届く場合があります。

メール情報を設定する

システム設定メニューの［メール］をクリックすると、画面右側に〔メール情報設定画面〕が表示されます。
※通常は設定内容を変更しないでください。

メール情報設定画面

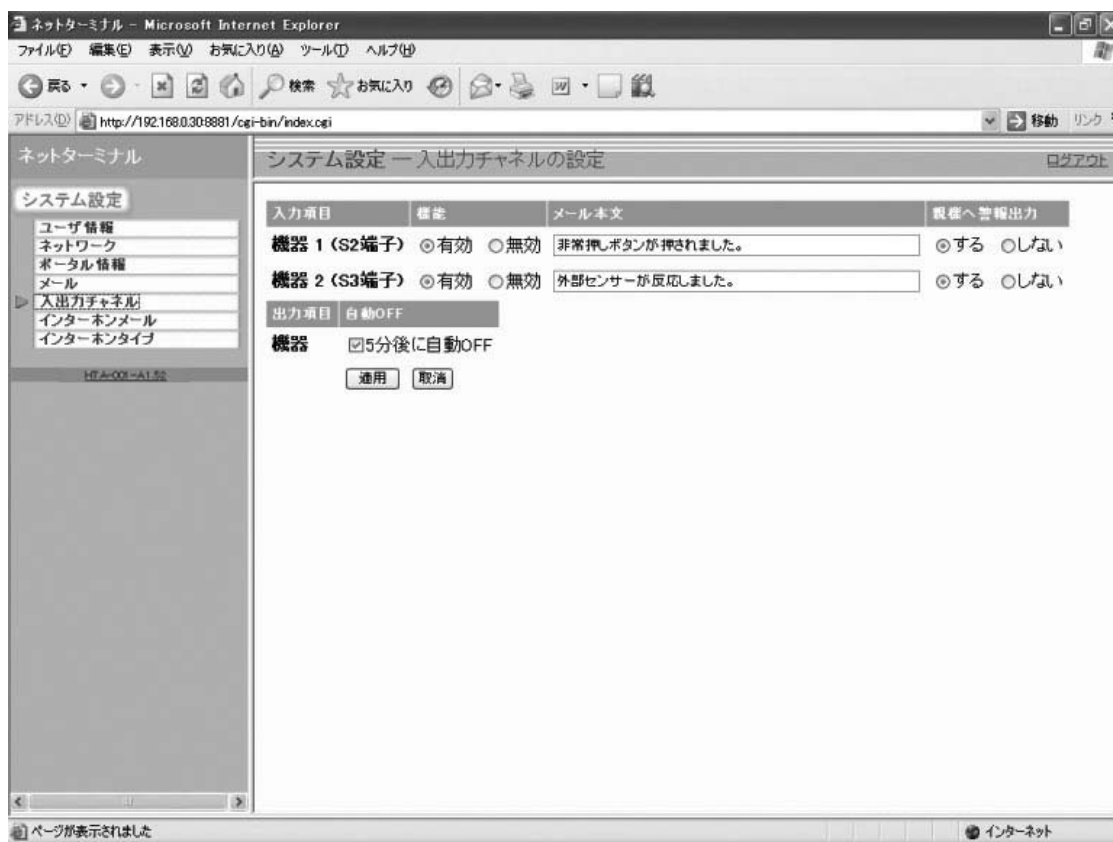
※画面には初期設定値が表示されています。

本画面には、共通設定項目として［送信先メールアドレス］、［SMTP サーバドメイン名］、［送信元メールアドレス（FROM）］、［送信ポート番号］の各入力欄があります。
また、メール送信方法を選択する［通常］、［SMTP 認証］、［POP before SMTP］のラジオボタンがあります。変更される場合は、お客様がご契約されているプロバイダーのメールアカウント情報等の入力が必要になりますので、プロバイダーから送付された資料を元にそれぞれの項目を設定してください。

設定後、［適用］ボタンを押すことで設定されます。
また、［取消］ボタンを押すと、各設定項目の値が現在の設定値に戻ります。

入出力チャネルを設定する

システム設定メニューの［入出力チャネル］をクリックすると、画面右側に〔入出力チャネル設定画面〕が表示されます。　※通常は設定内容を変更しないでください。

入出力チャネル設定画面

※画面には初期設定値が表示されています。

本画面には、入力チャネルの有効／無効を切り替える［機能］ラジオボタンと、メール本文を編集するための［メール本文］入力欄、そしてトリガー入力時に親機を鳴動させる／させない を切り替える［親機への警報出力］ラジオボタンがあり、設定後［適用］ボタンを押すことで設定されます。
［機能］を無効にした場合は、利用者モードの〔トリガー設定画面〕において対応項目が表示されなくなります。（P27）

また、［取消］ボタンを押すと、各設定項目の値が現在の設定値に戻ります。
尚、メール本文の最大文字数は、全角 64／半角 128 です。
※半角のカタカナは使用しないでください。携帯電話によっては半角で表示されません。

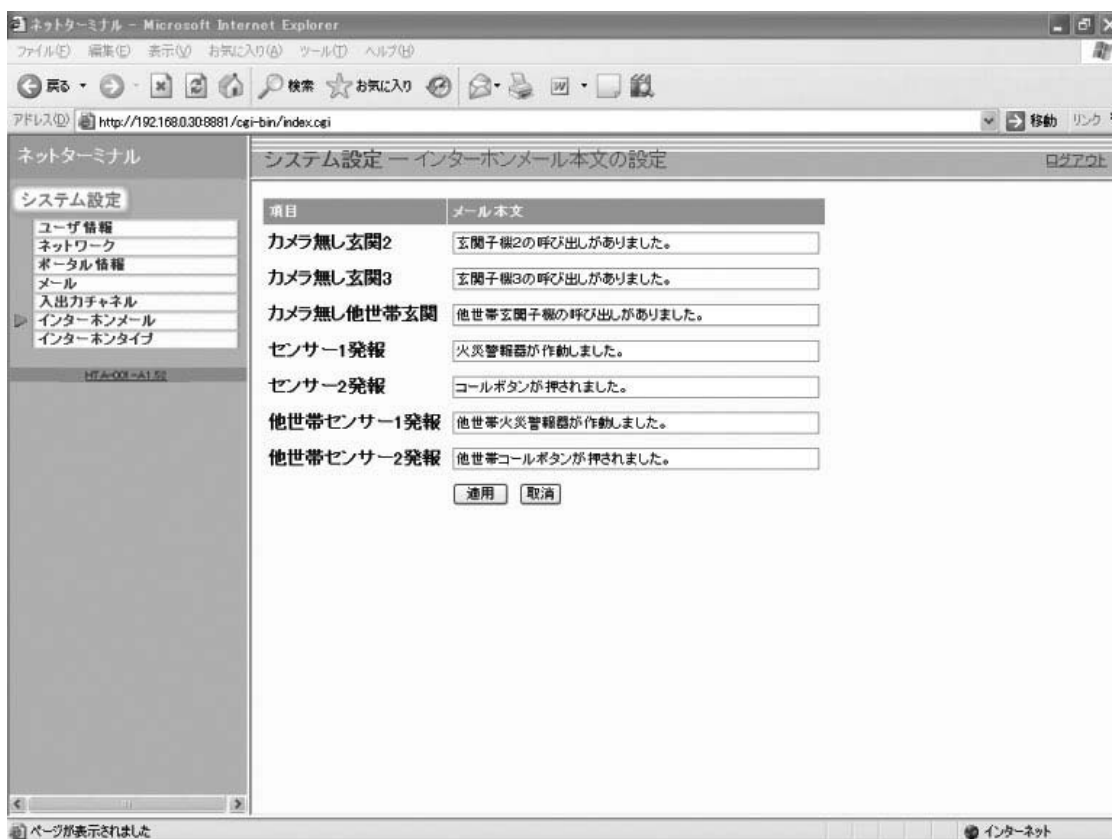
機器 1：接続端子 S2 に接続されている機器
機器 2：接続端子 S3 に接続されている機器

［5 分後に自動 OFF］を無効にすると 5 分後に接続端子 RY に接続されている機器が自動 OFF しません。設定を変更し、［適用］を押すとブレーク出力します。メーク出力中に設定を変更すると、メーク出力により動いていた機器の動作が止まりますので、注意してください。

インターホンメール本文を設定する

システム設定メニューの［インターホンメール］をクリックすると、画面右側に〔インターホンメール本文設定画面〕が表示されます。　※通常は設定内容を変更しないでください。

インターホンメール本文設定画面

項目	メール本文
カメラ無し玄関2	玄関子機2の呼び出しがありました。
カメラ無し玄関3	玄関子機3の呼び出しがありました。
カメラ無し他世帯玄関	他世帯玄関子機の呼び出しがありました。
センサー1発報	火災警報器が作動しました。
センサー2発報	コールボタンが押されました。
他世帯センサー1発報	他世帯火災警報器が作動しました。
他世帯センサー2発報	他世帯コールボタンが押されました。

（例として JD-3M の画面を表示しています）
※画面には初期設定値が表示されています。

本画面には、下表に示す項目についての、メール本文を設定する［メール本文］入力欄があり、設定後、［適用］ボタンを押すことで設定されます。
また、［取消］ボタンを押すと、各設定項目の値が現在の設定値に戻ります。

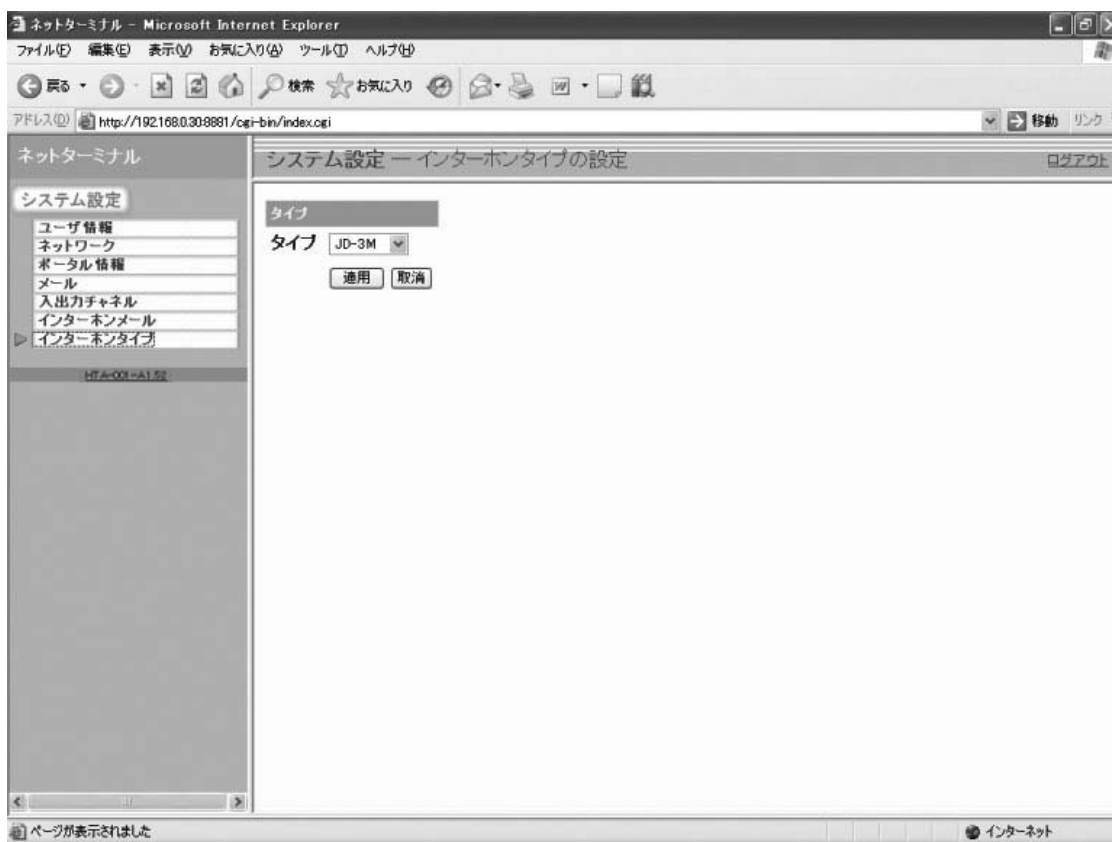
尚、メール本文の最大文字数は、全角 64／半角 128 です。
※半角のカタカナは使用しないでください。携帯電話によっては半角で表示されません。

設定項目一覧

設定項目	JD-3ME	JD-3M	JF または WF
カメラ無し玄関 2	○	○	○
カメラ無し玄関 3	○	○	×
カメラ無し他世帯玄関	○	○	×
センサー発報	○	×	○
センサー1 発報	×	○	×
センサー2 発報	×	○	×
他世帯センサー発報	○	×	×
他世帯センサー1 発報	×	○	×
他世帯センサー2 発報	×	○	×

インターホンタイプを設定する

システム設定メニューの［インターホンタイプ］をクリックすると、画面右側に〔インターホンタイプ設定画面〕が表示されます。　※通常は設定内容を変更しないでください。

インターホンタイプ設定画面

※画面には初期設定値が表示されています。

本画面には、ネットターミナルに接続する親機のタイプを選択する［タイプ］選択欄
（選択肢：「JD-3M」、「JD-3ME」、「JF または WF」）があり、設定後、［適用］ボタンを押すことで設定されます。
また、［取消］ボタンを押すと、設定項目の値が現在の設定値に戻ります。

タイプ	機種名
JD-3M	JD-3M-T
JD-3ME	JD-3ME-T
JF または WF	JF-2MED-T WF-2MED-T

≪インターホンタイプについて≫

インターホンタイプの設定がお客様ご利用の親機と異なる場合、テレビドアホンシステム自体が正常動作しませんのでご注意ください。
本設定を変更した場合、他の項目の一部設定値は引き継がれませんので、あらためて全項目の設定内容を確認してください。

ソフトウェアをバージョンアップする

管理者モードのみ、バージョン情報をクリックすると、画面右側に〔ソフトウェアバージョンアップ画面〕が表示されます。
※ 通常はバージョンアップしないでください。
※ Java ソフトウェアがインストールされていないパソコンでは本機能は実行しないでください。

ソフトウェアバージョンアップ画面

※画面には初期設定値が表示されています。
（お使いのものと画面とでバージョンが異なる場合があります。）

本画面には、バージョンアップしたいバージョン番号を入力する［バージョン］入力欄と［FTP サーバドメイン名］入力欄があり、入力後、［適用］ボタンを押すことでソフトウェアのダウンロードと書き換えが開始されます。　※確認ダイアログが表示されます。
バージョンアップ中はネットターミナルのウィンドウを閉じないでください。バージョンアップの進行状況が分からなくなります。

バージョンアップが完了すると、それを告げるメッセージが表示されます。

また、［取消］ボタンを押すと、各入力欄が現在の値に戻ります。

お手入れするには

外観の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
汚れが落ちにくいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい
布にひたし、よくしぼってから拭いてください。

シンナー、ベンジンなどの薬品は使用しないでください。
機器の表面を傷めたり、変色の原因になります。

故障かな？と思ったら

正常に動作しないときは、ネットターミナルの電源プラグを抜き、お客様相談センターまたは修理受付センターへお問い合わせください。

故障かな？	なぜ？	どうしたらいいの？
・動作しない	・ネットターミナルの電源プラグが抜けていませんか？ ・LAN ケーブルが抜けていませんか？	・ネットターミナルの電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ・ネットターミナルやルーターなどの LAN ケーブルをしっかりと差し込んでください。
・呼出音が鳴らない。 ・インターホンマネージャで通話ボタンを押しても通話ができない。	・パソコンのボリュームがミュートされていませんか？ ・インターホンマネージャのボリュームが「0」になっていませんか？	・パソコンのボリュームを調整してください。（P７） ・インターホンマネージャのボリュームを調整してください。（P23）

仕様

項目	仕様
電源電圧	AC100V　50/60Hz
消費電力	待受時 5W　最大 6W
画像解像度	320×240
画像フォーマット	JPEG 準動画　1 コマ/秒の 11 秒間
通話方式	自動交互通話
サンプルレート	8kHz、4bit
通信インターフェース	イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX）
ネットワークプロトコル	TCP・UDP/IP
使用周囲温度	0～40℃
材質	自己消火性樹脂
色調	ホワイト
寸法	200×150×35.5mm
質量	約 520g

アフターサービスについて（修理を依頼されるとき）

修理・お取り扱いなどのご相談は取付工事店、販売店もしくは当社修理受付センター、お客様相談センターへお申し付けください。

- ●製品保証書のお買い上げ日、店名・捺印をお確かめいただき、よくお読みのあと保管してください。
  - ・保証期間内は無料修理規定に従って、修理をさせていただきます。
  - ・保証期間を過ぎたときは有料で修理させていただきます。
- ●使用中、故障や誤動作またはこれらの不都合による利用の機会を逸した場合の損害補償については申し受けかねます。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

製品保証書

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに基づいた正常な使用状態で異常・故障が発生した場合、無料修理規定の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

■保証対象機種名：HTA-001-A

■保証期間　：お買い上げ日より**2年間**

■お買い上げ日　：　　年　　月　　日

販売店	印

本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。　アイホン株式会社

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに基づいた施工・使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   ①無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店もしくは修理受付センター、お客様相談センターへお申し付けください。
   ②この商品は出張修理をさせていただきますので修理に際し、本保証書をご提示ください。
2. 保証対象は、その構成機器を含んだシステムを保証対象機種とさせていただきますが、オプション・追加機器につきましては、各々の機器の保証規定に準じます。
3. ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店もしくは修理受付センター、お客様相談センターへご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、修理受付センター、お客様相談センターへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には、有料にさせていただきます。
   ①使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
   ②お買い上げ後の取付場所の移転、輸送、落下などによる故障および損傷
   ③火災、地震、水害、落雷その他天変地異、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
   ④本保証書のご提示が無い場合
   ⑤本保証書にお買い上げ日、販売店名の記入や販売店名印の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   ⑥離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
   ⑦商品に異常が認められない場合
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

・この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付センター、お客様相談センターにお問い合わせください。
・This warranty is valid only in Japan.

※修理受付センター・お客様相談センターにおける個人情報のお取り扱いについて

アイホン株式会社およびその関係会社は、お客様よりいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報を修理やご相談への対応、その確認や製品、サービスのご案内等のために利用し、記録に残すことがあります。また、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合は、第三者に個人情報を開示・提供することがありますが、その場合においても個人情報を適切に管理します。

■本書の内容に関しましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い上げの販売店もしくは当社支店・営業所までご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらず当社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■高い信頼性が要求される用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また当社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートはおこなっておりません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。TM、Ⓡ、Ⓒなどのマークは記載していません。

アイホン株式会社
〒456-8666 名古屋市熱田区神野町2-18
ホームページhttp://www.aiphone.co.jp

831685 Ⓐ P1008 MQ 51151